
三菱UFJフィナンシャル・グループ
2006年度第1四半期業績の概要
(2006年4月～2006年6月)

2006年7月31日

Quality for You



MUFG

本書には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「当社」という）およびそのグループ会社（以下「当グループ」という）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをご参照下さい。なお、本書における将来情報に関する記述は上記のとおり本書の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本書に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本書の計数は日本会計基準ベースの数値を使用しています。

<本資料における計数の定義>



連結

- PL項目** 06年度第1四半期の計数は三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
05年度第1四半期の計数は三菱東京フィナンシャル・グループ(連結)とUFJホールディングス(連結)の単純合算
- BS項目** 05年12月末以降の計数は、三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
05年9月末以前の計数は、三菱東京フィナンシャル・グループ(連結)とUFJホールディングス(連結)の単純合算

単体合算※

- PL項目** 06年度第1四半期の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
05年度の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)、UFJ銀行(単体、4月~12月)、三菱UFJ信託銀行(単体)及びUFJ信託銀行(単体、4月~9月)の単純合算
05年度第1四半期以前の計数は、東京三菱銀行(単体)、UFJ銀行(単体)、三菱信託銀行(単体)及びUFJ信託銀行(単体)の単純合算
- BS項目** 06年3月末以降の計数は、三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
05年12月末の計数は東京三菱銀行(単体)、UFJ銀行(単体)、三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
05年9月末以前の計数は東京三菱銀行(単体)、UFJ銀行(単体)、三菱信託銀行(単体)及びUFJ信託銀行(単体)の単純合算

※特に断りのない限り分離子会社を含む(銀行と分離子会社間の内部取引調整後の合算計数)

- 2006年度第1四半期業績サマリー (P/L) 4
- 2006年度第1四半期業績サマリー (B/S) 5
- 貸出金・国内預金 6
- その他有価証券 7
- 自己資本比率 8
- 金融再生法開示債権・与信関係費用 9

2006年度第1四半期業績サマリー (P/L)

【連結】



(億円)

- 連結粗利益は前年同期比+759億円
 - 資金利益は子会社の新規連結化等により前年同期比+614億円
 - 役務取引等利益は子会社の新規連結化に加え投資銀行収益等の増加により同+507億円
 - 国債等債券関係損益は同▲943億円
- 営業費は前年同期比+660億円
- 与信関係費用は117億円の費用計上 (前年同期比▲415億円)
- 四半期純利益は2,195億円 (前年同期比▲408億円)

<連結合算P/L>

	05年度第1四半期 (05/4~6)	06年度第1四半期 (06/4~6)	増減
1 連結粗利益 (信託勘定償却後)	7,656	8,415	*1 759
2 うち資金利益	4,092	4,707	614
3 うち役務取引等利益	2,102	2,609	507
4 うち特定取引利益	473	389	▲ 83
5 うちその他業務利益	808	312	▲ 496
6 うち国債等債券関係損益	695	▲ 248	▲ 943
7 営業費	4,388	5,048	*1 660
8 実質業務純益	3,269	3,366	97
9 臨時損益	▲ 339	▲ 149	190
10 経常利益	2,928	3,217	289
11 特別損益	464	714	249
12 四半期純利益	2,604	2,195	▲ 408
13 与信関係費用*2	298	▲ 117	▲ 415
14 与信関係費用*2 (単体合算*3)	404	161	▲ 242

(▲は費用)

*1 新規連結化要因は粗利益で約870億円、営業費で約430億円 (概算値)

*2 与信関係費用=信託勘定与信関係費用 (連結粗利益内) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用 (臨時損益内) + 貸倒引当金戻入額

*3 分離子会社を除く

- 貸出金は大・中堅企業向け貸出の減少を主因に前年度末比▲6,660億円
- 預金は法人預金の減少を主因に同▲25,395億円
- 金融再生法開示債権は同▲1,622億円と引き続き減少
 - 開示債権比率は1.88%に低下
- 06/6末の自己資本比率は11.75%
 - Tier1比率 6.74%
- 繰延税金資産対Tier1比率は12.1%
 - その他有価証券評価差額金の減少に伴い繰延税金負債が減少

(億円)

＜連結合算B/S＞		06年3月末	06年6月末	増減
1	貸出金 (銀行勘定+信託勘定) [貸出金 (銀行勘定)]	861,131 [857,631]	854,470 [851,040]	▲6,660 [▲6,590]
2	うち住宅ローン(単体合算)*1	182,447	181,762	▲ 684
3	有価証券	485,089	468,555	▲ 16,533
4	預金	1,189,880	1,164,485	▲ 25,395
5	金融再生法開示債権 (単体合算*2)	18,259	16,636	▲ 1,622
6	開示債権比率 (単体合算*2)	2.07%	1.88%	▲0.18ポイント
7	国内株式評価差額 (その他有価証券で時価があるもの)	29,808	24,122	▲ 5,685

＜ご参考＞

	06年3月末	06年6月末	
8	自己資本比率 (Tier1比率)	12.20% (6.80%)	11.75% (6.74%)
9	繰延税金資産 (ネット) 対Tier1比率	8.3%	12.1%

*1 賃貸用不動産建築資金を含む

*2 分離子会社を除く

貸出金・国内預金

【連結】



●貸出金残高は85.4兆円
(06/3比▲0.6兆円、05/6比+1兆円)

<06/3比増減の主要因>

- 国内大・中堅企業向け貸出 ▲1兆円

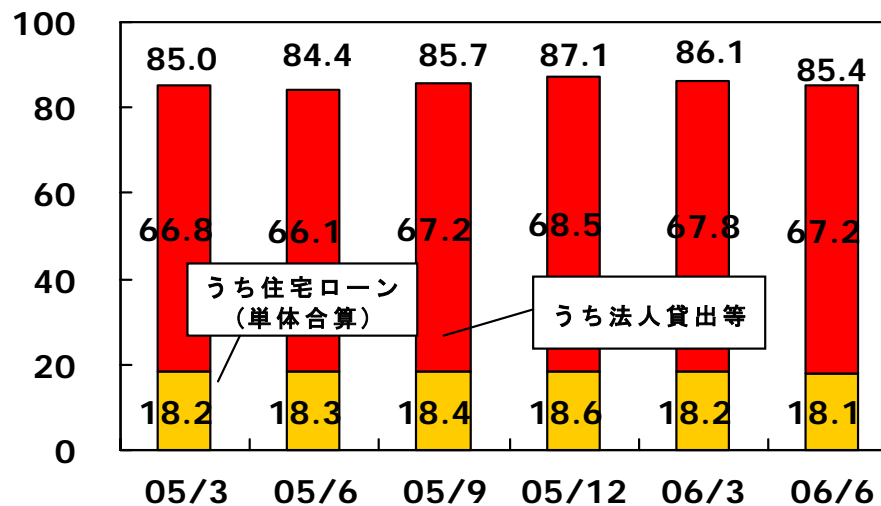
●国内店預金残高100.4兆円
(06/3末比▲2.4兆円)

<06/3比増減の主要因>

- 個人預金 +0.4兆円
- 法人等預金 ▲2.9兆円 *1

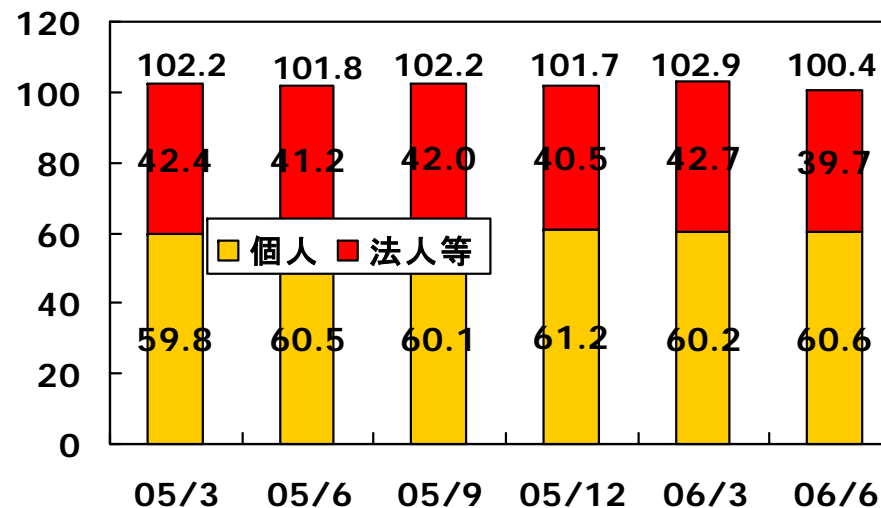
*1 賞与支払等の季節要因を含む

(兆円) 連結貸出金 (末残) *2



*2 銀行勘定と信託勘定の合算

(兆円) 国内店預金 (末残) *3

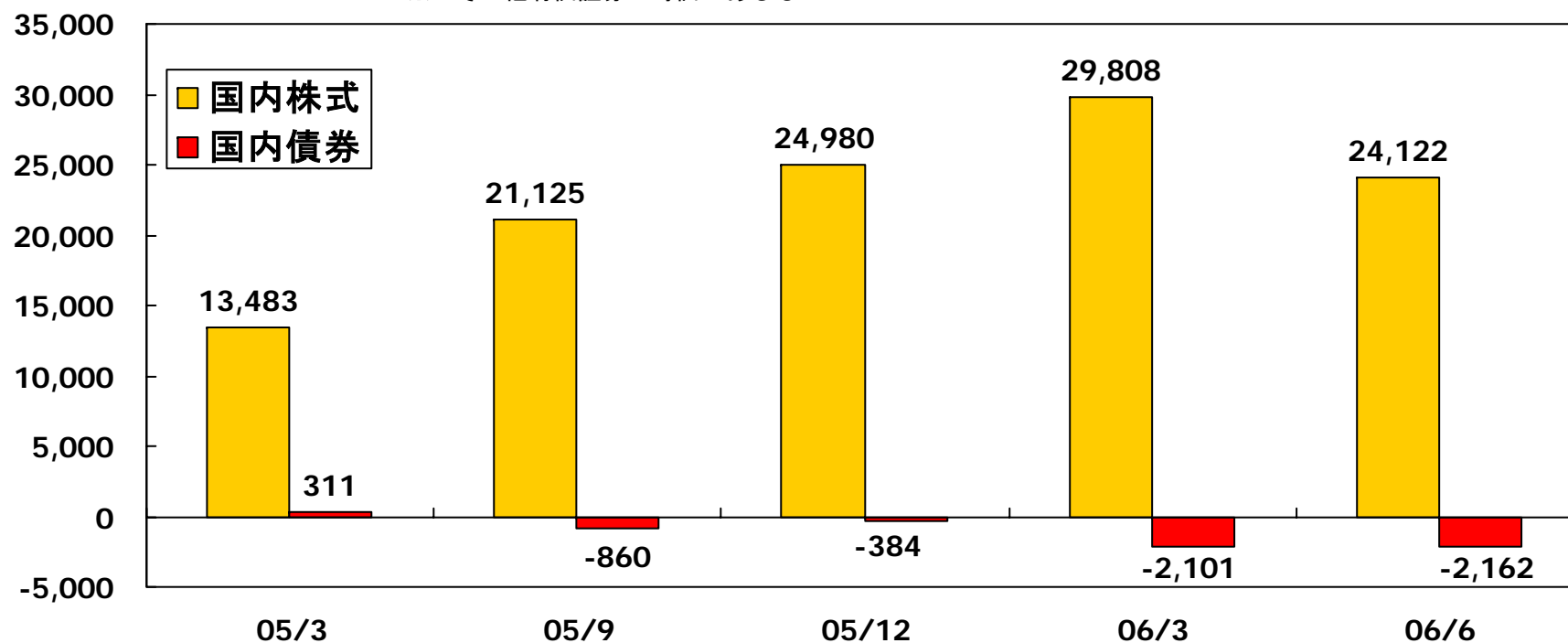


*3 単体合算、譲渡性預金・特別国際金融取引勘定分を除く

- 06/6末のその他有価証券含み益（国内株式・国内債券）は約2.2兆円
～株価の下落を背景に株式含み益が06/3末比5,685億円減少

(億円) 有価証券含み損益（国内株式・国内債券）※

※ その他有価証券で時価があるもの



国内株式保有額 (時価)	5.24兆円	5.93兆円	6.92兆円	7.46兆円	6.88兆円
国内債券保有額 (時価)	29.01兆円	28.42兆円	26.95兆円	25.41兆円	23.84兆円

(兆円)

- 06/6末の自己資本比率は11.75%
Tier1比率は6.74%

<Tier1の変動要因>

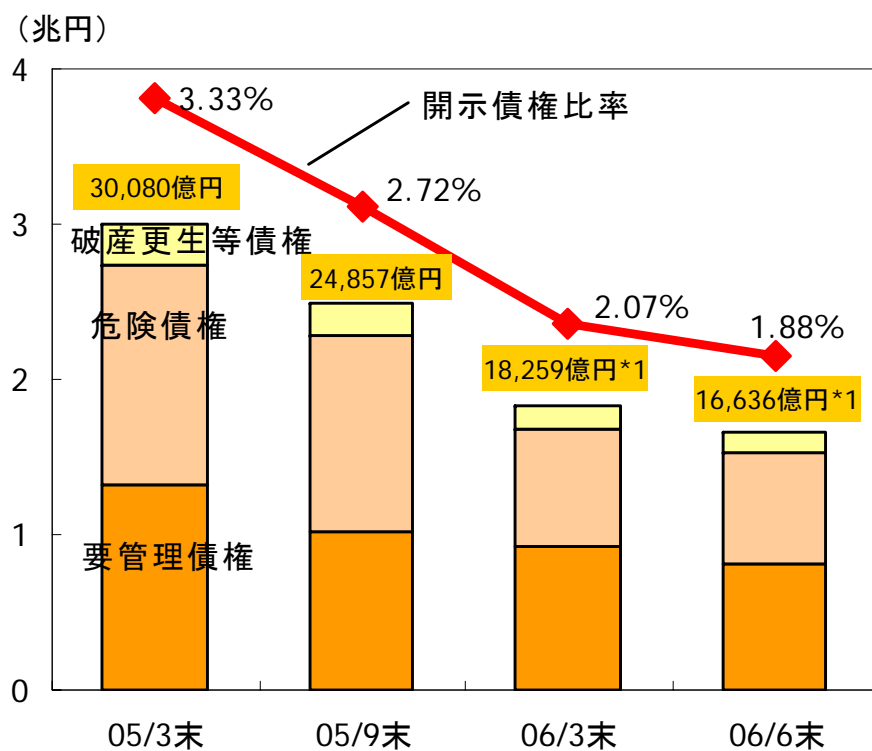
- 純利益 : +2,195億円
- 公的資金返済等に伴う
自己株取得 : ▲2,894億円

	06/6 (概算値)	06/3 (参考)
Tier1	7.42	7.50
うち公的資金	0.0	0.50
Tier2	5.84	6.29
うち自己資本に計上された その他有価証券含み益	1.00	1.34
うち自己資本に計上された 再評価差額	0.16	0.16
うち劣後ローン(債券)残高	3.71	3.78
リスクアセット	110.13	110.29
自己資本比率	11.75%	12.20%
Tier1比率	6.74%	6.80%



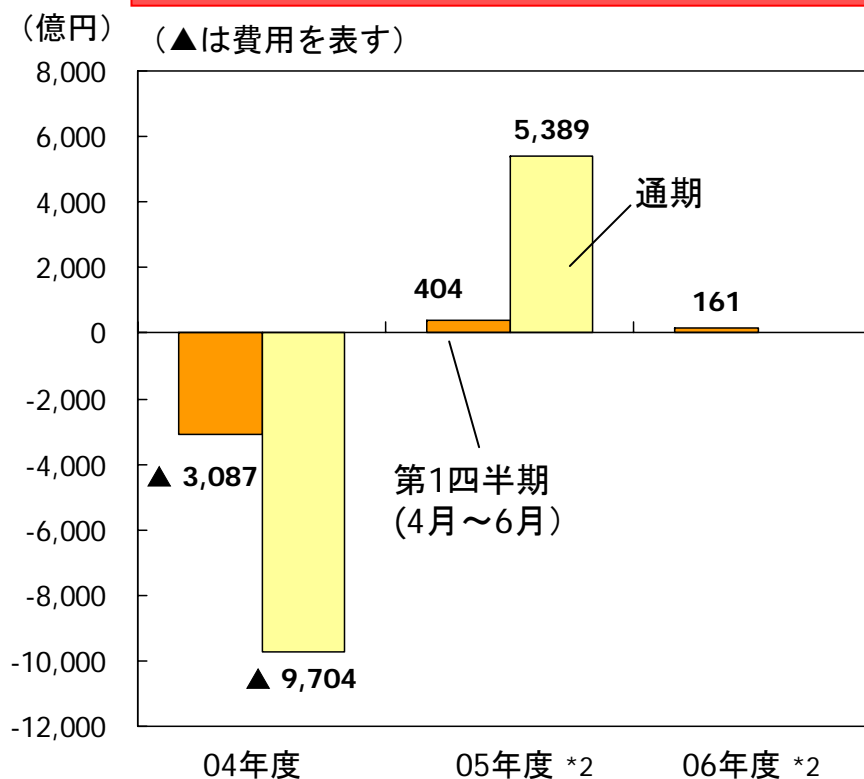
- 貸出資産の質は引続き改善、開示債権比率は1.88%に低下
- 単体合算の与信関係費用は貸倒引当金戻入により161億円の益を計上

金融再生法開示債権残高



*1 06/3末、06/6末は分離子会社を含まず

与信関係費用 (単体合算)



*2 05年度第1四半期および06年度第1四半期は分離子会社を含まず